

## 最近の管内経済概況

(平成30年2月の経済指標を中心として)

～ 持ち直している ～

最近の動きをみると、

○生産活動は、持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱い動き。

○個人消費は、持ち直している。

○観光は、改善している。

○公共工事は、減少に転じている。

○住宅建設は、弱まっている。

○民間設備投資は、増加している。

○雇用動向は、改善している。

○企業倒産は、件数、負債総額とも減少している。

全体として、管内経済は、持ち直している。

なお、先行きについては、人手不足や水産物の不漁が管内経済に与える影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

平成30年4月19日

照会先 : 経済産業省北海道経済産業局

総務企画部企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <http://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(平成30年4月現在)

発表月	平成29年11月	12月	平成30年1月	2月	3月	4月	前月との判断比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	
全国	景気は、緩やかな回復基調が続いている	景気は、緩やかな回復基調が続いている	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している	景気は、緩やかに回復している		
生産活動	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱い動き	持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱い動き	
個人消費	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	増加している	増加している	増加している	減少に転じている	増加に転じている	減少に転じている	
住宅建設	持ち直している	持ち直している	持ち直している	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱まっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
企業倒産	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも増加している	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	

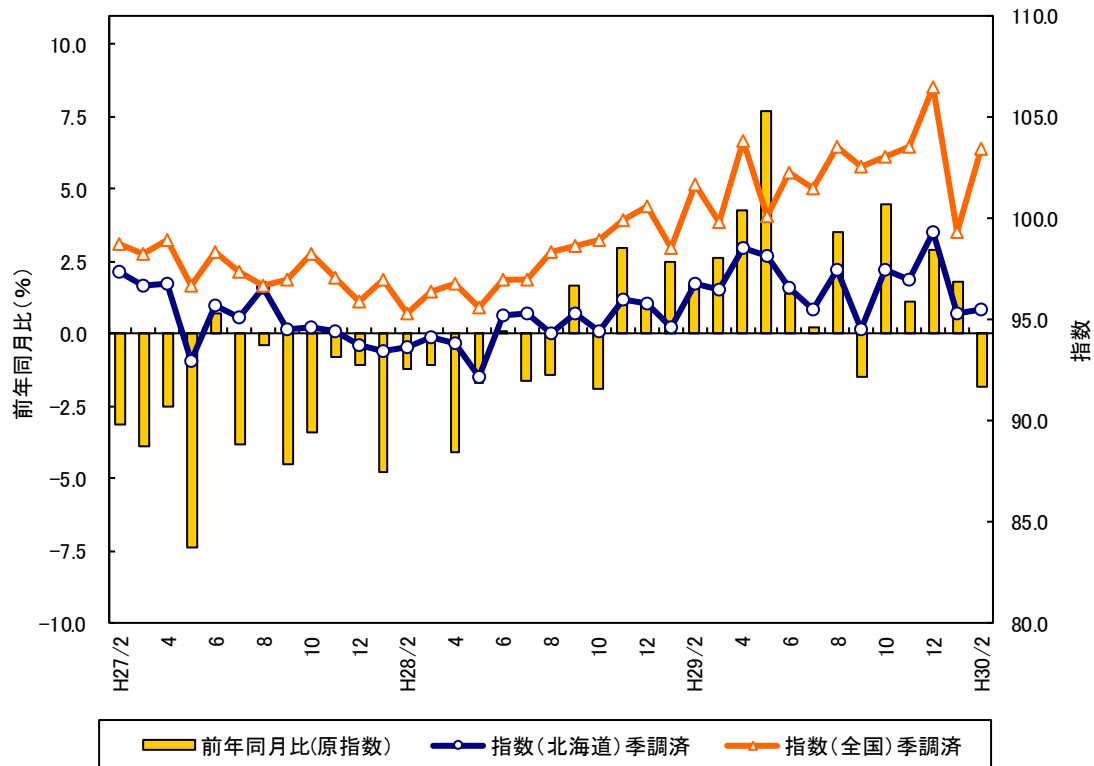
※全国は、内閣府「月例経済報告」の基調判断。

上方修正 据え置き 下方修正

2月の鉱工業生産は、前月比+0.2%と2か月ぶりに上昇した。  
生産設備のトラブルから紙製品の生産が減少したものの、値上げ前の駆け込み需要などからビールの生産が増加した。

<2月>  
季節調整済指数  
北海道（速報） 95.5（前月比+ 0.2%）  
全国（速報） 103.4（前月比+ 4.1%）

鉱工業生産指数（平成22年=100）



【ヒアリング内容】

■現在の状況

- ・海外向け設備投資需要から、化学機械の生産が増加した。（一般機械工業）
- ・PCサーバー用の需要増から半導体部品の生産が増加した。（電気機械工業）
- ・値上げ前の駆け込み需要やリニューアル商品の好調から、ビールの生産が増加した。（食料品工業）
- ・生産設備のトラブルによる操業停止から、紙製品の生産が減少した。（パルプ・紙・紙加工品工業）
- ・在庫調整を行ったことから、農薬の生産が減少した。（化学工業）

■先行き

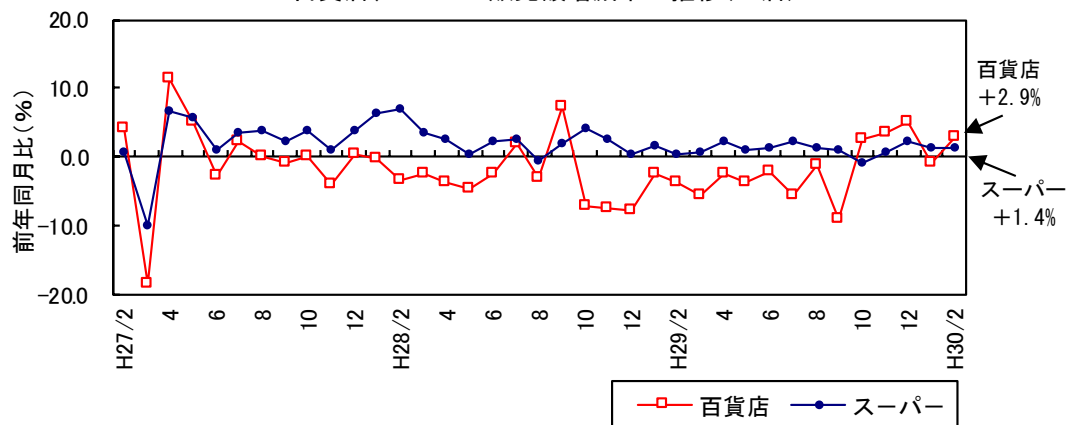
- ・ネット通販が好調なことから、段ボールの生産が増加する見込み。（パルプ・紙・紙加工品工業）
- ・生産体制の見直しにより、電気機器の生産が減少する見込み。（電気機械工業）
- ・道外向け応援生産により、アルミ容器の生産が増加する見込み。（金属製品工業）

（資料：経済産業省、北海道経済産業局）

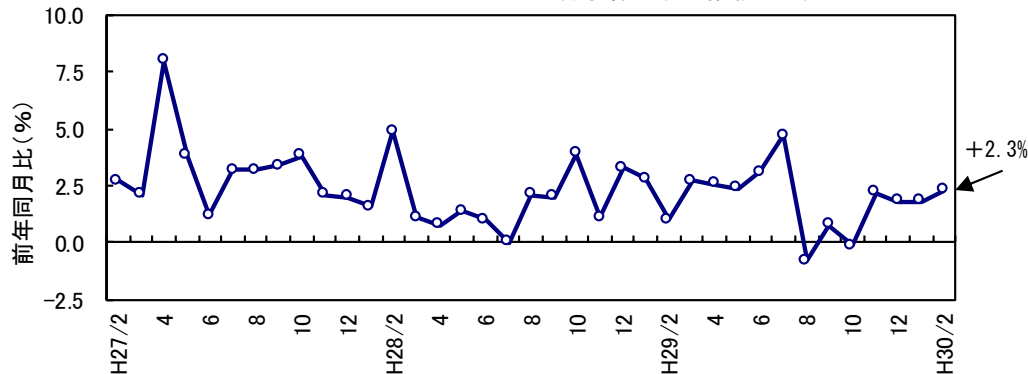
2月の個人消費は、飲食料品、化粧品が堅調なことから、持ち直している。

- ・百貨店は、免税売上の好調が続いていることから、前年同月比+2.9%と2か月ぶりに前年を上回った。
- ・スーパーは、飲食料品の動きが堅調なことから、同+1.4%と4か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、カット野菜などの動きが良かったことから、同+2.3%と4か月連続で前年を上回った。
- ・ドラッグストアは、店舗数の増加や化粧品などの好調により、同+4.1%と34か月連続で前年を上回り、ホームセンターは、季節用品などの動きが良かったことから、同+2.7%と2か月ぶりに前年を上回った。

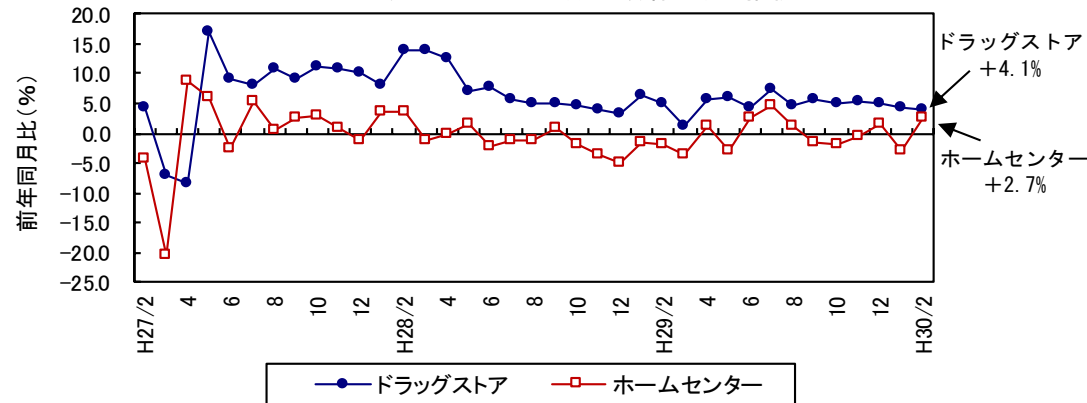
百貨店、スーパー販売額増減率の推移(全店)



コンビニエンスストア販売額等増減率の推移(全店)



ドラッグストア、ホームセンター販売額増減率の推移



【ヒアリング内容】

■現在の状況

- ・春節期間のずれにより、外国人客数が伸びたことから、化粧品や高級ブランド服などの免税売上が好調だった。(百貨店)
- ・野菜が相場高で価格が上がっていることから、飲食料品の売上が伸びた。(スーパー)
- ・温かい麺類や相場高の影響を受けにくいカット野菜などの動きが良かった。(コンビニ)
- ・悪天候や低温の影響で、除雪用品や防寒衣料の売れ行きが良かった。(ホームセンター)

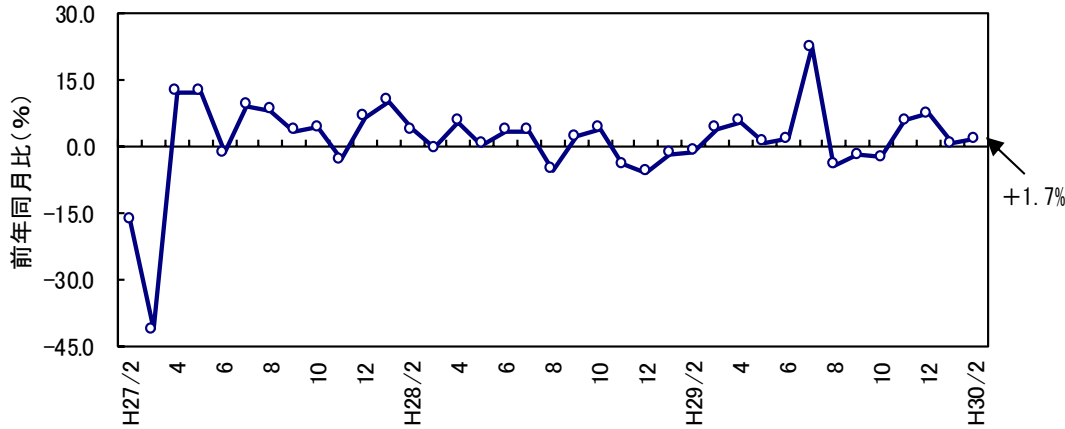
■先行き

- ・化粧品の好調に加え、改装効果や品揃えの見直しなどにより、飲食料品の売上も伸びている。(ドラッグストア)

(資料:北海道経済産業局)

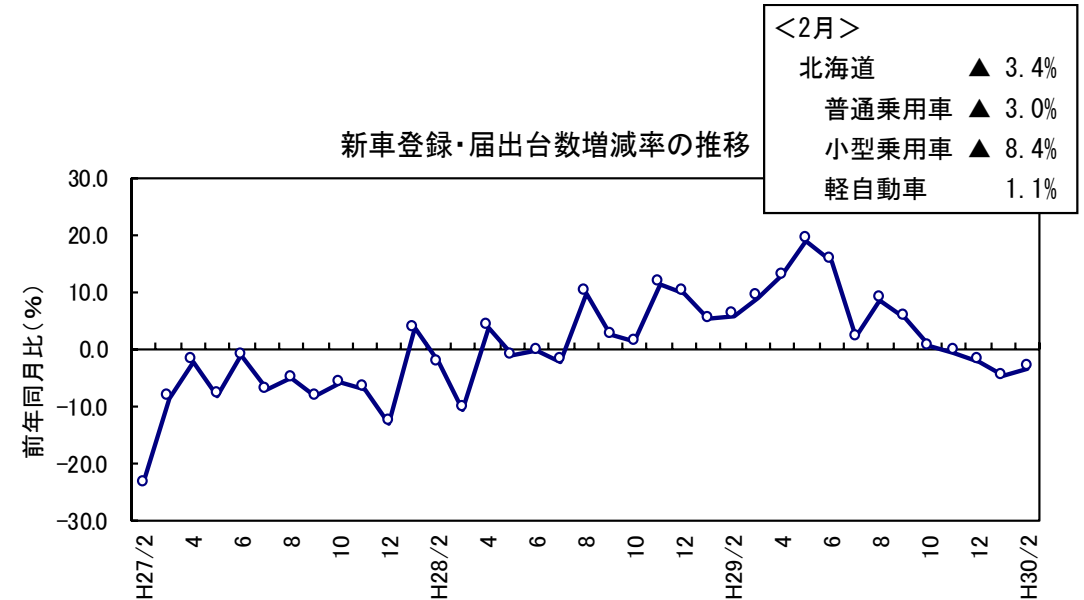
- ・家電販売は、テレビやゲーム機などが好調だったことから、前年同月比+1.7%と4か月連続で前年を上回った。
- ・新車販売は、軽自動車の前年を上回ったものの、普通乗用車、小型乗用車が前年を下回り、全体では同▲3.4%と4か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額増減率の推移



(資料:北海道経済産業局)

新車登録・届出台数増減率の推移



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- ・大型の4Kテレビ、携帯電話、ゲーム機などの動きが良かった。ゲーム機は外国人客にも人気となっている。
- ・白物家電は、大容量や省エネタイプが好調で、単価が上がっている。

【ヒアリング内容】

- ・普通乗用車、小型乗用車は、新型車効果の一巡や無資格検査問題の影響などから、前年割れとなっている。
- ・軽自動車は、安全性能の高い新型車が好調。

2月の来道客数は、前年同月比+5.6%と2か月ぶりに前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+24.5%と21か月連続で前年を上回った。

<2月>

来道客数 99.9万人 (+ 5.6%)  
 航空機 91.0万人 (+ 6.2%)  
 JR 5.1万人 (+ 3.9%)  
 フェリー 3.7万人 (▲ 5.1%)

【ヒアリング内容】

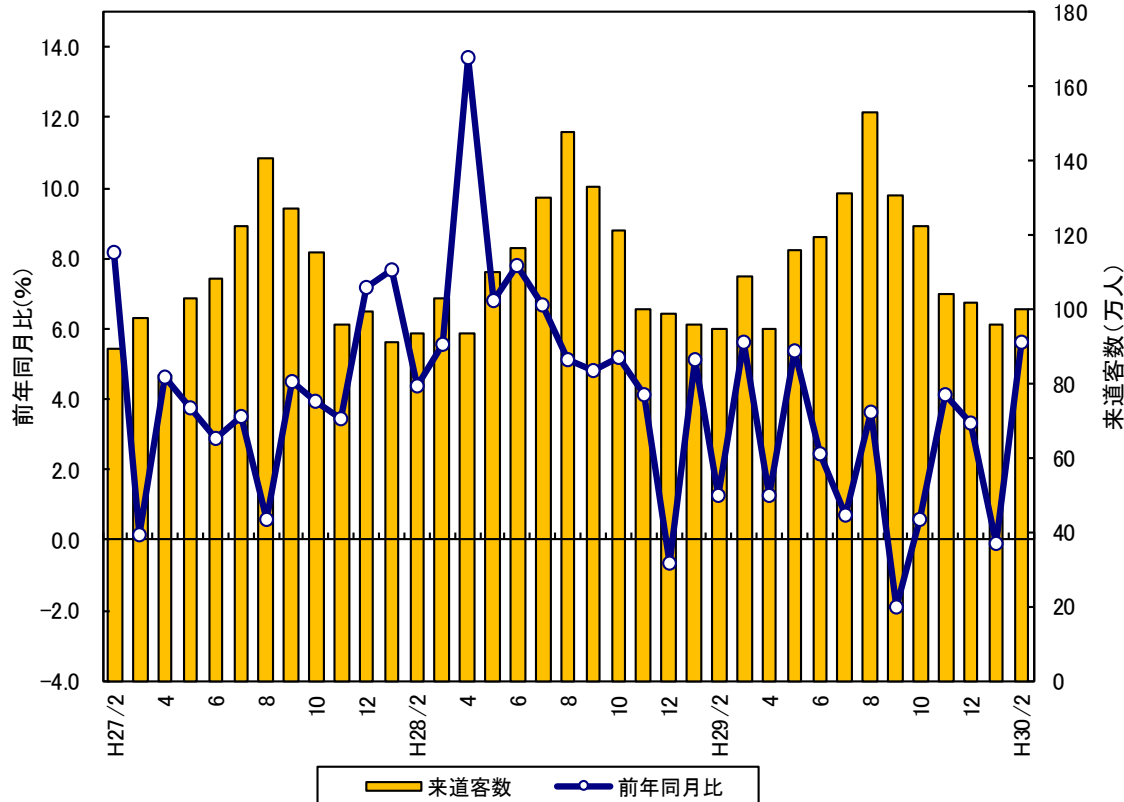
■現在の状況

- ・三連休や春節期間のずれの影響から、JR利用客が増加した。(運輸業)
- ・一部航路で長期間欠航があったことから、フェリー利用客が減少した。(関係機関)

■先行き

- ・アジア圏を中心とする外国人観光客の増加から、ホテル予約は今後も好調。(宿泊業)

来道客数推移

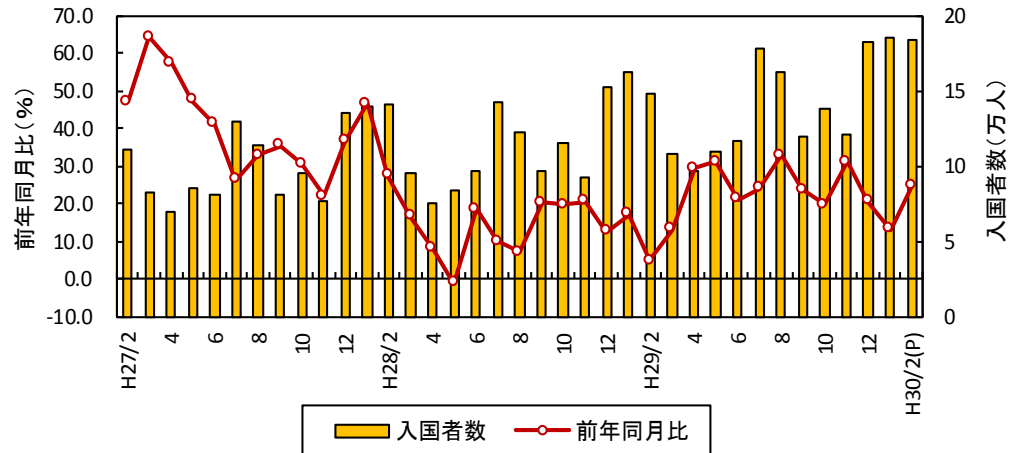


(資料: (公社)北海道観光振興機構)

<2月>

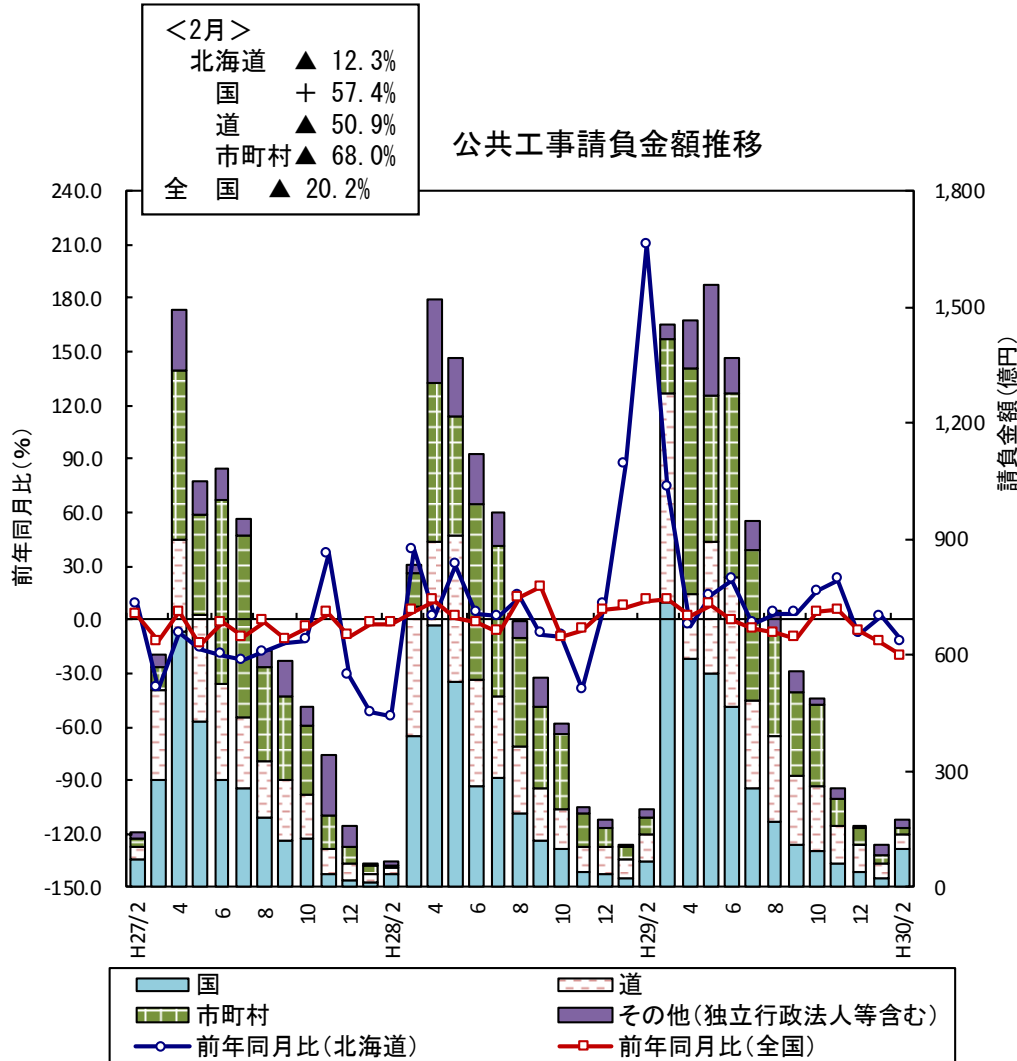
入国者数 18.4万人 (+24.5%)

道内外国人入国者数



注) "p"は速報値 (資料: 法務省)

2月の公共工事請負金額は、国が前年を上回ったものの、道、市町村が前年を下回り、全体では、前年同月比▲12.3%と2か月ぶりに前年を下回った。平成29年4月～平成30年2月の累計では、前年同期比+6.6%となった。



(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

【ヒアリング内容】

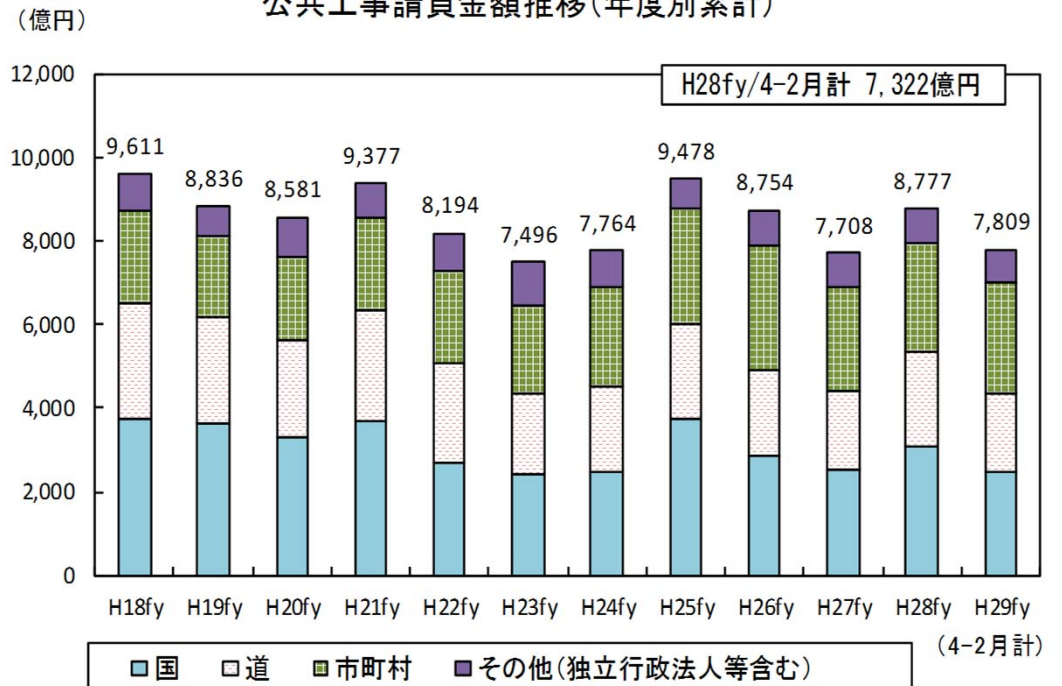
■現在の状況

・昨年あった道営住宅の新築工事や市町村の大型工事の反動から、北海道や市町村の工事が減少した。(関係機関)

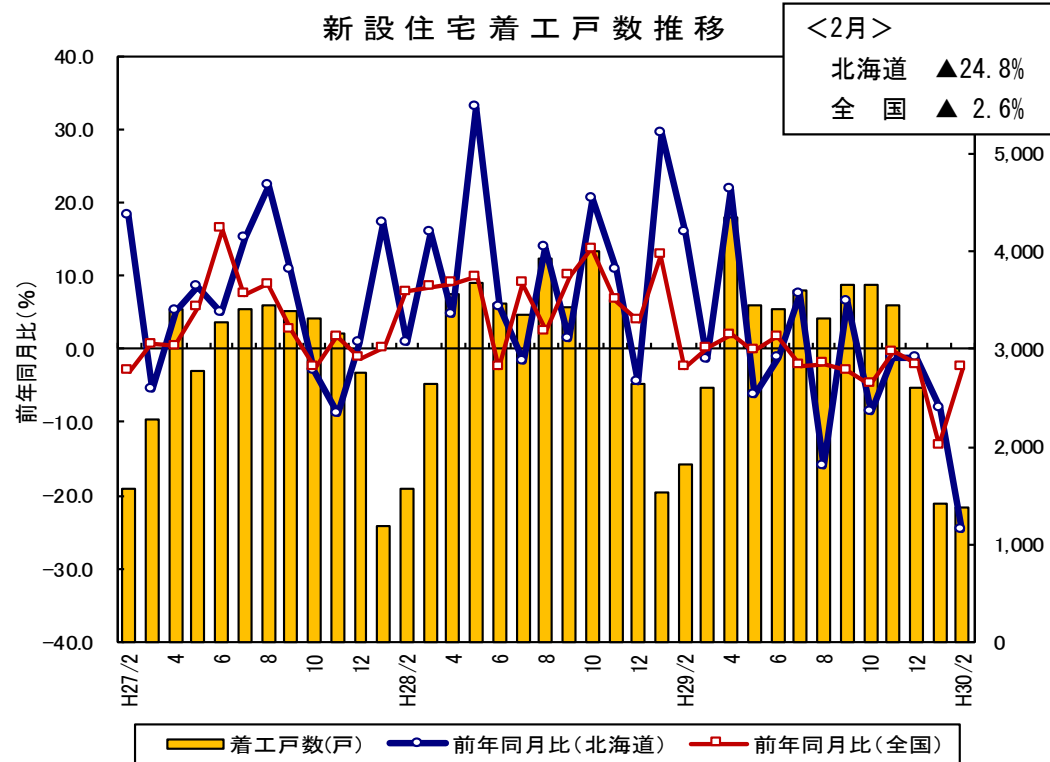
■先行き

・今後、災害復旧工事が概ね終了する一方、公共施設の改修工事などが増加する。(建設業)

公共工事請負金額推移(年度別累計)



2月の新設住宅着工戸数は、持家が前年を上回ったものの、分譲、貸家は前年を下回り、全体では前年同月比▲24.8%と5か月連続で前年を下回った。



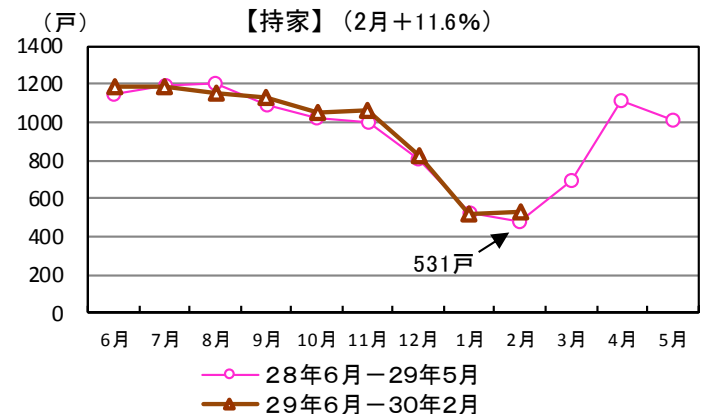
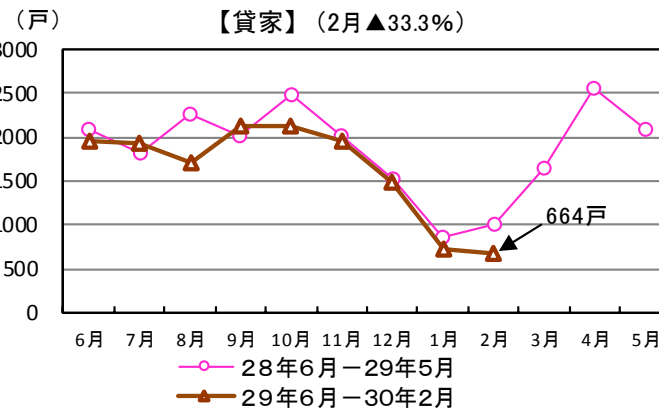
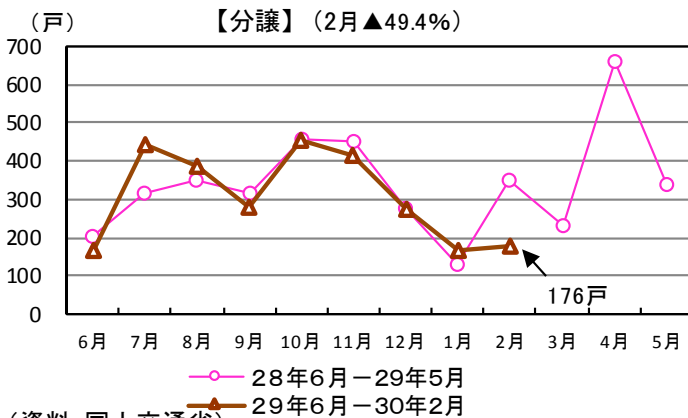
【ヒアリング内容】

■現在の状況

- ・昨年好調だった相続税対策などによる貸家の着工が、頭打ちとなっている。(関係機関)
- ・人件費の高騰、地価の上昇などの影響により、分譲マンションの価格が高くなっており苦戦している。(建設業)

■先行き

- ・持家・分譲戸建ともに、今後の消費税増税前の需要に期待している。(建設業)



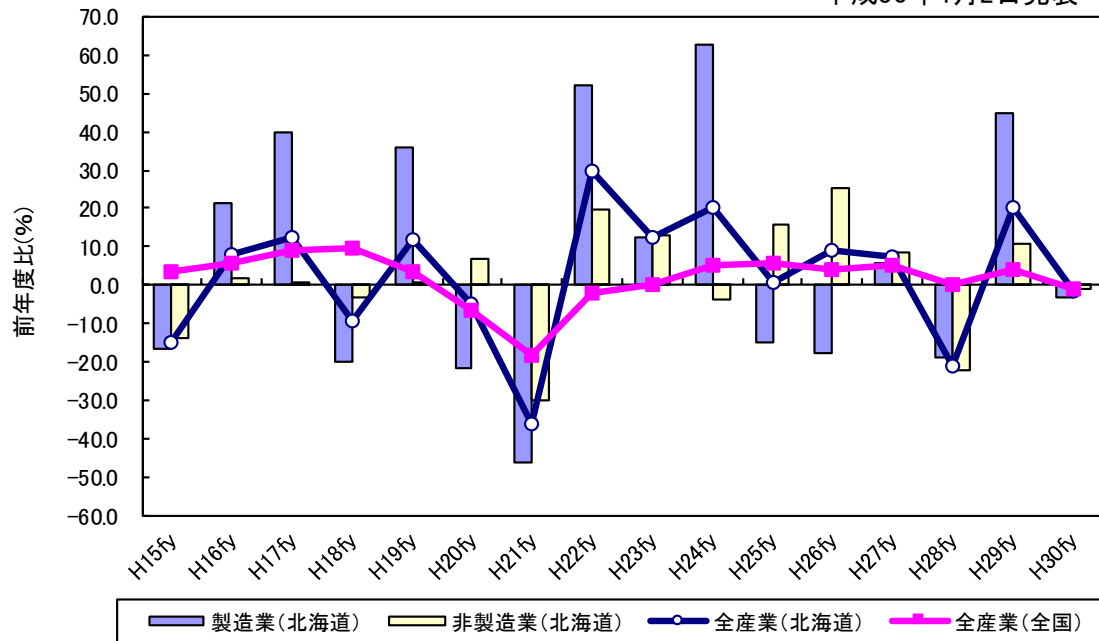
(資料:国土交通省)



29年度の設備投資計画は、全体で前年度比+20.5%と2年ぶりに前年度を上回った。  
 なお、30年度は前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向(製造業、非製造業別)

平成30年4月2日発表



【ヒアリング内容】

■ 製造業

- ・超硬切削工具の需要増に対応するため、新工場を建設し、生産能力を増強する。(金属製品製造業)
- ・外国人観光客などの増加に対応するため、工場見学や菓子作り体験ができる観光施設をリニューアルする。(食料品製造業)

■ 非製造業

- ・増加する国内外観光客の宿泊需要に対応するため、札幌市中心部にホテルを新設した。(宿泊業)

法人企業景気予測調査(設備投資)

平成30年3月12日発表

	29年度計画	30年度計画
北海道	+ 20.5%	▲ 1.5%
製造業	+ 44.9%	▲ 3.0%
非製造業	+ 10.7%	▲ 0.7%
全国	+ 4.0%	▲ 0.7%

注)土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

(資料:日本銀行札幌支店)

対前年(同期)比 増減率(%)	29年度 (見込み)	30年度 (計画)		
		上期	下期	
全産業	21.8	2.1	5.6	▲ 0.6
製造業	42.7	▲ 5.3	▲ 12.9	0.9
非製造業	12.3	8.4	22.7	▲ 1.8

注)ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料:北海道財務局)

2月の有効求人倍率は、1.16倍と前年同月差0.10ポイント上昇し、97か月連続で前年を上回った。

< 2月 >

北海道

有効求人倍率(常用) 1.16倍

新規求職申込件数 ▲12.1%

新規求人数 ▲2.7%

全国

有効求人倍率(常用) 1.51倍

< 職種別有効求人倍率の例 >

型枠大工、とび工 5.11倍

整備工・修理工 2.99倍

調理人、調理見習 2.74倍

給仕、接客サービス員 2.53倍

自動車運転手 2.17倍

販売店員、訪問販売員 1.68倍

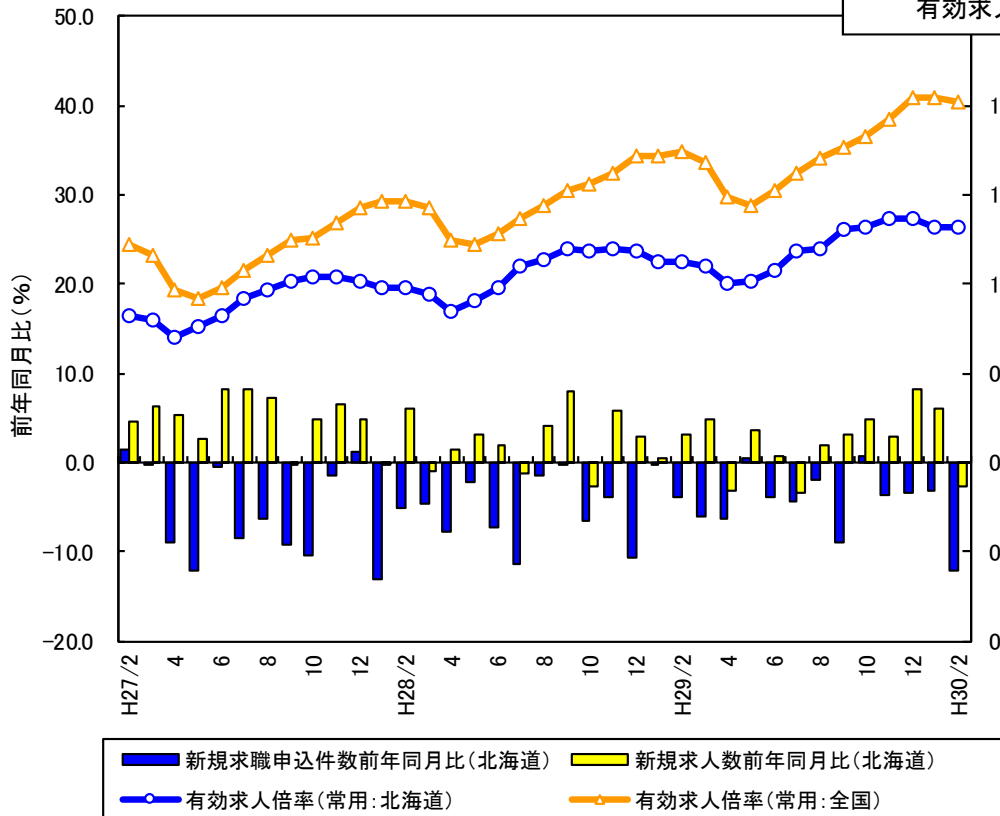
選別作業員、軽作業員 0.14倍

一般事務員 0.37倍

会計・経理事務員 0.83倍

マンション駐車場等管理人 0.88倍

有効求人倍率・新規求職・新規求人数の推移



【ヒアリング内容】

■ 製造業

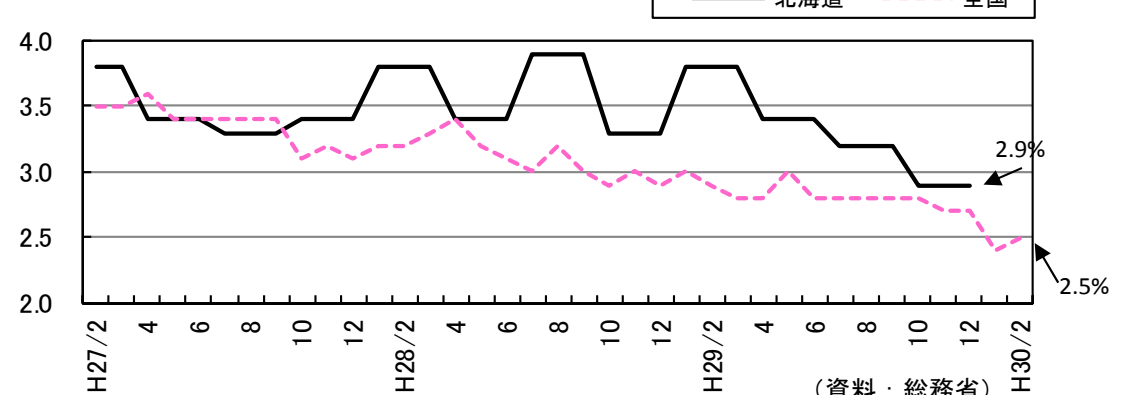
・自動化・省人化設備の導入により、地域の少子高齢化に伴う作業員不足に対応する。(食料品製造業)

■ 非製造業

・従業員の確保・定着を図るため、賃上げや年間休日数の増加などを行う。(小売業)

・優秀な若手人材を確保するため、大卒初任給の大幅引き上げを行う。(小売業)

完全失業率の推移(原数値)



(資料:厚生労働省、北海道労働局)

(資料:総務省)

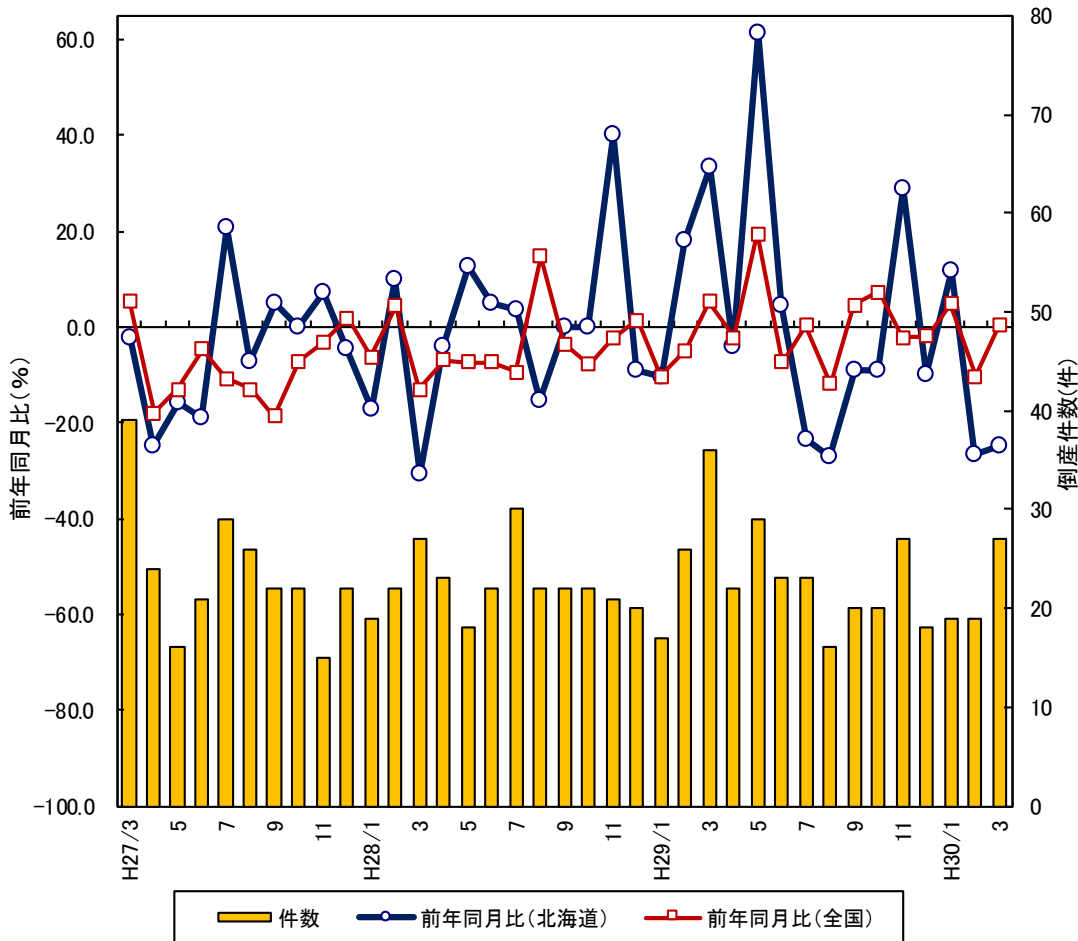
# 企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少している ～

# 企業倒産

3月の倒産件数は27件で、前年同月比▲25.0%（9件減）と2か月連続で前年を下回った。また、負債総額は39.7億円で、同▲18.9%と2か月連続で前年を下回った。

### 企業倒産件数推移

<3月>  
 北海道 ▲ 25.0%  
 全国 + 0.3%



(資料: (株)東京商工リサーチ)

### 【ヒアリング内容】

■現在の状況  
 ・小規模倒産はあるものの大型倒産がなく、落ち着いた状態が続いている。  
 (関係機関)

### 企業倒産負債総額推移

<3月>  
 北海道 ▲ 18.9%  
 全国 ▲ 20.4%

